

2012年度

世界のこども日本語ネットワーク推進事業
第4回「日本児童海外体験プログラム」
第4回「海外児童日本体験プログラム」
国内参加校 応募要項

公益財団法人 博報児童教育振興会では、「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」の一環として実施する2つの体験プログラムに参加する国内校を募集いたします。

このプログラムも今回で第4回を迎え、充実した内容で、児童・生徒が成長する機会を提供いたします。たくさんのご応募をお待ちしております。

2012年1月10日

子どもたちと、未来のあいだに

博報財団
HAKUHO FOUNDATION 

1. プログラムの目的

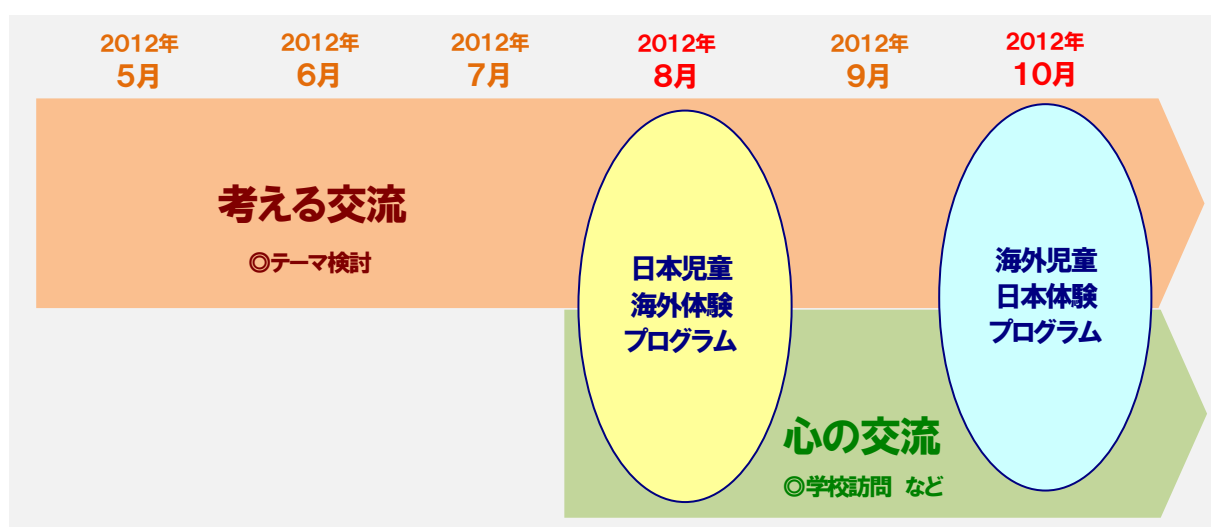
「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」では、日本語を通じた異文化体験や国際交流を通して、海外の児童・生徒の日本への理解を深め、日本の児童・生徒の国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

2. 募集内容

本年、実施を予定している2つの体験プログラムに積極的、且つ、意欲的に参加いただける日本国内の学校教育法上の中学校を募集いたします。

募集校数： 2校程度

3. 実施内容



親睦や異文化理解のための「心の交流」と、共同で社会的・未来的なテーマを検討する「考える交流」の二つを軸にプログラムを展開。

① 考える交流 <テーマ検討>

- ◇ 社会的・未来的なテーマについて、予備調査・情報整理・アイデア提案までに至る作業を、5月(予定)より、海外参加校と協同で行います
- ◇ 半年間に及ぶ共同作業の成果として、「海外児童日本体験プログラム」の最終日に発表会を開催します
- ◇ テーマ検討は、インターネットやメールを利用した作業と、日本と海外の生徒がプログラムで直接、顔を合わせて行う作業とで進めていきます

② 心の交流 <実施プログラムでの学校訪問、ホームステイ、文化・社会体験、交流イベントなど>

- ◇ 海外の受入校を訪問し、授業見学やホームステイなどの交流を行います
- ◇ 海外訪問時には、自由時間を利用して、自主企画による文化・社会体験などを行うことができます
- ◇ 国内の中学校は来日した児童・生徒や引率教師を学校訪問で受け入れ、授業見学やホームステイなどの交流を行います
- ◇ 海外校の来日時には、海外の児童・生徒たちと一緒に東京近郊の施設に宿泊し、交流イベントを行います

* 事業に関する情報は、下記サイトをご覧ください

HGN (事業WEBサイト) <https://www.hgnet.jp/>

財団ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

4. 参加条件

- i) 日本国内の学校教育法上の中学校であること。
- ii) 「3. 実施内容」に記載された活動全てに参加できること。
- iii) 所属する教育機関長(学校長)から、本プログラムへの参加承諾を得られること。
- v) 海外渡航に関わる手続きや、旅程の企画・調整などを主体的に進められること。
- vi) 本プログラムの実施内容及び成果物を財団が映像で記録することに同意し、その全部または一部が財団で製作するDVD及び財団のホームページ上で開示されることに同意すること。

5. 助成内容

■ 日本児童海外体験プログラム

- ・ 渡航費(日本～訪問国までの往復航空運賃)
 - ・ 訪問国での宿泊費・食費
 - ・ プログラム内の活動費(交通費を含む)
- ▶ 今回予定: 10日間程度(2012年8月予定)／国内校各校5名(生徒4名+引率教師1名)を助成
※訪問国はイギリス、インド、インドネシア、カナダ、スリランカ、タイ、ベトナム、マレーシア、モンゴル、ルーマニア、ロシアの11カ国の中から1～2カ国を予定
- ▶ 前回実績: 国内参加校(2校)より、計8名の生徒と引率教師2名が9日間の日程でマレーシアを訪問。

■ 海外児童日本体験プログラム

- ・ プログラム内の活動費(交通費を含む)
 - ・ 海外児童を受け入れるために必要な諸経費
- ▶ 今回予定: 10日間程度(2012年10月予定)／海外校との交流に参加する国内校各校17名前後(生徒15名前後+引率教師1～2名)を助成。
※8月のプログラムに参加する生徒と引率教師は、このプログラム参加が必須条件
- ▶ 前回実績: 国内参加校(2校)より、計31名の生徒と引率教師5名が参加。来日した海外の児童・生徒の学校訪問やホームステイでの受け入れ、また、1泊2日の交流イベントに参加。

6. 提出書類

提出していただく書類は、次の2点です。

(A) 参加申請書

(B) 参加校選考にあたってのお伺い

* 書類(A)、(B)ともに、次のWEBサイトより入手してください

HGN(事業WEBサイト) <https://www.hgnet.jp/>

財団ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

7. 締め切り／送付先

期日までに必ず郵送にて、下記事務局までお送りください。

2012年2月10日(金)＜必着＞

送付先: 世界のこども日本語ネットワーク推進事業事務局

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル

※ ファックスやEメールでの応募は受け付けておりません

8. 選考／発表

提出書類をもとに、当財団および外部有識者による諮問委員会にて選考、決定いたします。
選考結果は書面にて通知いたします。

選考結果通知：2012年2月末

※ 選考結果に対するお問い合わせには応じかねますのでご了承ください

<応募にあたっての留意事項>

- (1) 本プログラムの内容は、予告なく変更される場合があります。
- (2) 訪問先の国や学校その他の事情により、財団の決定によって、本プログラムの施行を中止または延期する場合があります。
- (3) 本プログラムの参加校として選定された後、参加校として適切でないと財団が判断した場合は、その選定を取り消す場合があります。
- (4) 本プログラムの参加校として選定された学校には、別途、財団が定める本プログラムの実施細則に同意していただきます。
- (5) 上記(1)ないし(3)によって、本プログラムの内容の変更、施行の中止、もしくは延期、または参加校の選定取消が行われた場合、それらについて、財団に重大な帰責事由があるときを除き、財団は損害賠償の責めを負いません。
- (6) 提出書類は、返却いたしません。
- (7) 選考にあたってご提出いただいた個人情報は、本プログラムの実施、及び当財団が主催する今後の事業活動のために利用するものであり、それ以外の目的では使用いたしません。また、情報を事前の承諾なく、業務委託先以外の第三者に開示又は提供することはありません。

博報財団（正式名称：公益財団法人博報児童教育振興会）は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「日本語海外研究者招聘事業」「世界のこども日本語ネットワーク推進事業」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行なっています。

公益財団法人 博報児童教育振興会
HAKUHO FOUNDATION

〒107-0052 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館8階
Tel 03(5570)5008 Fax 03(5570)5016
<http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>